

★設立背景と目的

本市木材産業が将来に渡って発展すること及び持続可能な森づくりのため、素材生産者等（川上）から木を使う人（川下）までを一堂に会するこれまでに前例のない会議体を設立します。参加メンバーによる F.O.R.E.S.T. 会議では、それぞれが抱える課題を共有し、本市が目指すべき将来の森林ビジョンを明確にするとともに、関係者同士がその課題解決に向け同じ方向を向き、連携強化を図ることを目的としています。

★参加メンバー

○素材生産者（川上）

- ・米沢地方森林組合及び生産森林組合
- ・認定事業体
- ・経営管理実施権の設定を受けることを希望する民間事業者
- ・大規模森林所有者
- ・その他個人経営者、林業参入予定者 など

○製材業者等（川中）

- ・米沢木材製材組合加盟各社

○製造業者等（川下）

- ・米沢木工組合加盟各社
- ・その他木製品等製造業者
- ・建設業者
- ・木質バイオマス発電事業者
- ・その他木材を使用する事業者 など

○学識経験者※必要に応じて招集

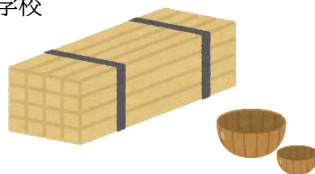
- ・山形大学
- ・東北農林専門職大学及び附属農林大学校

○行政

- ・置賜総合支庁森林整備課
- ・米沢市森林農村整備課（事務局）

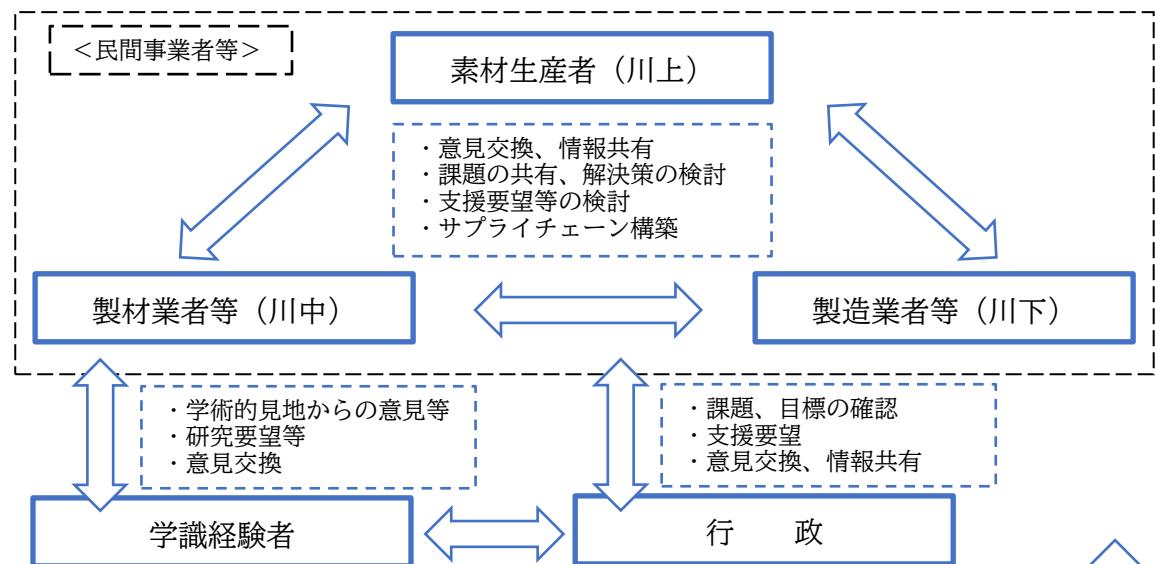
○アドバイザー※必要に応じて招集

- ・置賜森林管理署
- ・その他民間事業者 など



★米沢市木材産業協議会「F.O.R.E.S.T.」概要図

※必要に応じて分科会を設置して協議



★協議事項

協議会は、年に数回開催し、主に以下のことについて協議しますが、時代の潮流に合わせ、内容等は臨機応変に対応します。

<主な協議事項>

○課題の洗出しと共有、解決策の模索

それぞれが抱える課題や、市と事業者及び事業者同士の考え方のギャップを把握し、その解決の糸口を探ります。

○市の林業振興に資する長期ビジョンの策定及び検証等

100年後も持続可能な森林づくりを目指し、エビデンス（根拠や裏付け）に基づく林型への誘導（ゾーニング）や目標値等の設定、達成までのプロセスの検証などを行います。

○サプライチェーン構築検討

市内はもとより、主に都市部への販路拡大を見据え、広報の強化とサプライチェーンの構築を図ります。

「F.O.R.E.S.T.」とは・・・？

「Future Oriented Resource and Environmental Sustainability Team」の頭文字を取ったもの

- ・Future Oriented
⇒未来志向的に発展させる、良い未来を想像し今できることを考える
- ・Resource and Environmental Sustainability
⇒資源と持続可能な環境
- ・Team
⇒協議会という固いイメージよりは一つのチームという意味合い

『より良い将来のため森林資源と環境の持続可能性を考えるチーム』

参加者全員が、業種の垣根を越えて一つのチームとして、より良い米沢市の未来のために米沢市の持続可能な森づくりについて意見交換等を行う場という意味合いを込め、このような名称としました。

アドバイザー

- ・協議する内容等により制度や全国の事例などを紹介
- ・外部委託するものについては、コンサル等へ業務委託
- ・その他情報提供等

